

## 霊場交替のご案内



(旧) 布袋尊霊場 榊原地蔵寺

(新) 布袋尊霊場 安楽寺(あんらくじ) 曹洞宗

住所 津市一志町波瀬 2284 (〒515-2522)

電話 059-294-7523

### 交替の事由

旧布袋尊霊場・榊原地蔵寺尼僧の体調不良により、七福神霊場として維持継続出来ない為、安楽寺を新布袋尊霊場として開創致します。

交替日：平成 29 年 12 月 2 日(土)

## 開創 5 周年記念法会のご案内

日時：2017 年 12 月 2 日 (土) 10 時半～12 時半  
(10 時から受付開始)

会場：安楽寺 津市一志町波瀬 2284

七霊場から霊場交替のご挨拶とお礼を込めて幸せ祈願祭です。(美味しい甘酒をご用意しています)

参加費：ご志納 (記念法会の詳細はチラシをご参照下さい)

## 寺社ちよつといい話 大黒天霊場

### ■七福神の発足と将来の願いを

ポトマック公園の桜祭りにたくして

四天王寺 東堂 倉島昌行

七福神の霊場が発願され、五年目を迎えます。

今回縁あって桜で有名なポトマック公園のあるアメリカから、桜の女王レイチェルボーンさんが来日し、当山にお参りされ、桜の苗木を植樹することとなりました。ポトマックの桜は日米友好の証しとして有名ですが、今日の姿



になるまでには様々な人の努力と苦勞がありました。

今ここに桜の苗木を植えるにあたり、尾崎行雄翁の発心と何十年に亘り桜を愛し、日米の友好の誠を尽くして来られた先人たちに敬意を表すものであります。

ポトマック公園の桜、そもそもエリザ R・シドモア女史、1856 年(安政 3 年)生まれでジャーナリストである彼女の日本取材の中に、向島の桜並木に関する観察ノートがあり、こう記されています。「日本人は、自然を愛し、花をあがめる精神と感受性を先祖から受け継いでいるようです。その精神は伝統文化から毎日の生活環境の中にも見ることができます。アメリカ人には考えも及ばぬ芸術的能力を有しているといえるのです。」

人間社会では何かをしようとしても、ひとりの力だけで簡単に成就できるものではありません。人間同士の有形無形の協力なしには所詮素晴らしい夢や考えも『絵に描いた餅』で終わってしまうでしょう。だから何かを実現させるためには、人の繋がりを持って協力の輪を形成することが不可欠であります。その前提をなすのが人と人との出会いと言えるであろう。

日本人は自然と自分を一体化するのです。だから、桜の花が短い命を咲き誇るその一瞬に、桜とともに生命力の悦びに浸ろうとするのです。

今回の桜の苗木も 3 年後には花をつけてくれることでしょう。報恩の行が続いていくものと思われま。ご縁をいただいた皆様に感謝するとともに七福神の霊場もその精神にのっとって継続し、後世に渡り人々の心を慰めてくれることを祈ります。



■雁行 円光寺へ 八の会 河内禮子  
第3回、「伊勢の津七福神」雁行が6月22日（木）実施されました。

伊勢上野 円光寺へ。四天王寺・倉島東堂と八の会有志9名が参加いたしました。

前日の強風と豪雨とは打って変わって穏やかなお天気でした。四天王寺に集合し、日頃利用することが少ない乗合バスで津駅から伊勢上野停留所まで。そして伊勢街道、10分程で坂道から石畳が続く円光寺に到着しました。境内では、初夏が来ると次々に白い花を咲かせる涼味満点で、まっすぐ立ち上がる姿のナツツバキが迎えてくれました。



少し散策後、本堂に入り優しいお顔の弁才天様を参拝し、般若心経と御詠歌をお唱えしました。その後「道の駅津かわげ」での買い物で締めくくり、帰路につきました。

御仏に見守られ、安穩無事に一日の行程を終えることができました。このような機会に巡り合え心より嬉しく思っております。

「ナツツバキ」に寄せて～～～  
一日花として咲き、落花。生きとし生けるものすべては大自然の設計図の中で生かされてきた理由、命の輪廻、出会いと別れ「葉っぱのフレディ」（作・レオ・バスカーリア）を思い出しています。



★弁才天奏でたきかな沙羅日和 鈴木静香

### 寄稿

■地域包括ケア時代 元気高齢者になろうー  
津地区医師会長 浦和健人  
卒業して52年、初めてT高校の同窓会に

参加し、四天王寺の倉島昌行師と話す機会を得て、「七福神友の会」に入会しました。

私が今医師会で主に取り組んでいる「地域包括ケアシステム」構築活動をご紹介させていただきます。

少産多死の時代は今後も続くことが予想され、世界に前例のない超高齢者社会が到来し、2025年には団塊の世代がすべて75歳以上の後期高齢者に入り、2030年には50歳以上の人口が6割を占め、2039年には死亡数がピークを迎え急激な人口減少が進み、2100年には日本の人口は5000万人を切ると言われています。

限られた国家予算の中で医療費、介護費、年金だけが増加し続けることは許されず、持続可能な施策が断行されます。それが地域包括ケアで、入院治療から在宅医療、在宅介護へ、医療・介護関係の多職種及び地域住民でそれを支えるシステム構築を



れとお達しです。つまり医療・介護を通じて一昔前の里山社会への回帰をなさいとしますが、地域の結びつきが希薄になっている地域では到底実現不可能な感じです。

そこで地域包括ケア時代には高齢者の発想の転換が必要になります。時々医療、時々介護、時々勤労で自己管理を行いつつ、1人1人がなるべく長く元気高齢者(健康年齢)を維持し、高齢者が地域で近くの高齢者のお世話を出来る範囲で行っていただき、自助、共助で高齢者を支える地域造りを目指すこととなります。

人は必ず死にます。残された高齢期で自分は何時まで自立して生活できるか、地域にお役に立つには今から何が出来るか、自分らしい死に方とは何かを自問し、皆様にはまだまだ元気で地域で自分を活かしていただき、1日でも長くご活躍いただきますようお願い申し上げます。

## 寄稿

### ■「有り難い」こと 津市 田中友子

今年、めでたく古希を迎え、古希祝いの同窓会、クラス会にいくつか参加した。父が71歳、母が75歳で共に病気で亡くしている私は、健康でこの歳を迎えられたことを何より有難く思っている。

毎日仏壇に手を合わせ、家族、友人、知人の健康を感謝し、祈念している。

ところが、本当にその有難さに気づいてはいなかったことが先日分かった。

ある朝、朝食後突然激しい胃の痛みで襲われ、ベッドで身体を丸めて寝るしかできなくなった。その日は一日ベッドから動けず、次の日何とか病院に行き、「急性胃腸炎」との診断を受け、薬をもらい、三日間水分以外はほとんど取れず、熱と痛みで苦しめられた。約束は全てキャンセルし、ホッとしたのだが、私は今まで普通に動いていた自分が信じられなかった。「又、あのよう動けるのだろうか」そして、リウマチで歩行困難だった母の辛さをほんの少しだけ理解できた。

人は無くした時、初めてその「有難さ」に気付かされる。

最近、数人でやっている英語グループの長老のKさんが、会を止められた。お仕事をされながら、意欲的に英語の勉強を続けておられた。

英検1級、通訳の資格も持つ、お手本のような方だった。4月から「一時的に」ということで休んでおられたが、当然又ご一緒出来るものだと思い込んでいた。本当にショックだった。物事は変わっていくのだ。

「一期一会」「無常」という言葉はよく使われる。誰でも、今日あることは「有難いこと」で感謝すべきことなのだ。

自分の病気と、知り合いとの別れから「有難い」ということの意味が少し分かった自分だった。今ある、人とのいくつかのご縁を大切に日々を過ごしていきたいと改めて思った。



### ■坐禅と私 八の会 Iさん

数年前、私は朝が来るのがとても嫌でした。いろいろなことがあり、毎日を生きているのが苦しかったのです。そんな時、なぜか四天王寺に足が向き、仏様の前にいました。今思うと本当に不思議です。そして、日曜坐禅会に参加するようになり、感謝の気持ちを何かでお返ししたくなって、お寺のお掃除をさせていただくようになりました。そうしていつからか、四天王寺の青いエプロンをつけ、自分の出来る範囲ではありますが、お手伝いをさせていただくようになりました。

朝お掃除をしていると、早くからのお参りを日課にしてみえる方、休日の昼間ですと、遠くから参拝に来られたのかな？と感じさせるご夫婦やグループの方に会うことがあります。ごあいさつだけにとどまらず、ちょっとしたお話しにまで発展することもあります。お薬師さんのことや、参詣の方々の旅の途中のお話など……。喜んで頂けるととても嬉しい気持ちになります。

また、ここでお手伝いをさせていただくようになってから、一つ一つのことに丁寧に取り組む気持ちが持て、日々の生活、とりわけ今を大切に思うようになりました。そして、禅についていろいろ知りたくなり、勉強していく中で、生と死についての捉え方が自分の中で変わってきたのがわかります。



豊かな気持ち、そして、常に感謝の気持ちを持つことができるようになったのは、私にとって大きな変化です。今では、朝が来ると、「今日も一日授けていただけた。一生懸命仕事をし、誰かのために何かできるといいなあ」と思えるようになりました。本当に感謝です。



## 伊勢の津七福神 友の会のご案内

伊勢の津七福神が津市に開創して5年が経とうとしています。  
このたび、布袋尊霊場を榊原地蔵寺から一志町波瀬の安楽寺に交替することと致しました。今後ともよろしくお願ひ致します。

200名の友の会会員の皆様のご協力のもと、この先も歩みを進めて行きたいと思っています。

是非ともこの活動に御賛同くださり、巡拝・感謝の心を育て、街おこしの夢を見てください。

会員の方には年3回、友の会便りが届きます。以下の特典もございます。

会費 : 1,000円/年間  
金融機関 : 郵便局  
郵便振替口座 : 00820-8-123136  
口座名義 : 伊勢の津七福神友の会

《伊勢の津七福神友の会事務局》

〒514-0033 津市丸之内 27-16 高山神社内  
電話 : 059-225-8558  
URL : <http://isenotsu7fukujin>



### ■伊勢の津七福神 友の会特典 (会員証をお見せください)

- うなぎのつたや 059-228-3005 100円引き
- 榊原館 059-252-0206 日帰り入浴 お茶進呈
- 谷石材 0595-21-2148 花筒5%引き
- はま作 059-228-3088 和菓子サービス
- 松菱 7階彦兵衛 059-228-6082 ランチ700円以上 コーヒー1杯サービス
- 都ホテル内 059-229-2255 日本料理「浜千鳥」食事の際、10%割引
- ホテル三徳 059-223-3109 宿泊客にコーヒー一杯サービス
- お菓子處とらや本家 059-228-4802 1000円以上お買い上げでポイント5倍押し
- Paradox (パラドックス 津市大門6-9) 059-264-7877 アイスクリームサービス
- マキノ回生堂 059-228-5331 1000円以上お買い上げの方にティッシュひと箱
- 長谷川印刷 059-228-4465 名刺100枚ご注文の方、一割引き



《伊勢の津七福神友の会事務局》

〒514-0033 津市丸之内 27-16 高山神社内  
電話 : 059-225-8558

編集後記 : ご意見、原稿お寄せ下さい。

12月2日は安楽寺の鐘楼門をくぐりぬけて、布袋尊に子孫繁栄をお願いしたいものです。

池上 [kanon@nifty.com](mailto:kanon@nifty.com)